

くすみ・ゴワツキ対策「ターンオーバーの亢進が根本原因」

洗顔剤やクレンジング、保湿ケアの繰り返しによって皮膚バリアを壊し続けると、ターンオーバーが亢進し（早くなり）、①未熟な角質が量産され皮膚表面に蓄積する（肥厚する）②キメが粗くなることで、くすみ・ゴワツキが起こります。海の森化粧品は、従来のピーリング&保湿によって一時的にくすみ・ゴワツキを抑えるケアとは違い、壊れた皮膚バリアを修復するバリアケアで、ターンオーバーが正常に機能する皮膚環境を整え、くすみ・ゴワツキを繰り返さない肌へと導きます。

●ターンオーバーが早くなる原因「洗顔・保湿ケアの繰り返し」

ターンオーバーが早くなる原因として、加齢、紫外線、空気の乾燥、生活習慣の乱れなど様々ありますが、要因となるのが洗顔剤やクレンジング、保湿化粧品を用いた保湿ケアの繰り返しです。皮膚には、皮脂膜と角質層2つのバリアが備わっていますが、配合の合成界面活性剤やアルコールによって容易に壊れてしまいます。特に、バリアの要となる角質バリアが壊れると、壊れたバリアを修復するためにターンオーバーが早くなります。通常、バリアが修復されるとターンオーバーは元のスピードに戻るため、一時的な使用であればくすみ・ゴワツキは起こりません。しかし、継続使用で角質バリアを壊し続けると、常にターンオーバーが早くなります。すると①未熟な角質が量産され、本来垢として剥がれ落ちるはずの古い角質が皮膚表面に蓄積（肥厚し）角質が固くなる②キメが粗くなることで、くすみやゴワツキが起こるようになります。

肥厚している肌では、皮膚バリアが慢性的に壊れているため、ちょっとした紫外線や空気の乾燥の影響によって、ますますターンオーバーが早まり、特に夏の終わりや冬場は、くすみ・ゴワツキが目立つようになります。

●従来のくすみ・ゴワツキ対策「ピーリング&保湿ケアで一時的に目立たなくする」

一般的には、ピーリング剤や炭酸パック、酵素洗顔などを用いて古い角質を取り除き、その後乾燥などの肌トラブルが起こらないように、乳液・クリーム、美容液、オイル、ジェル、パックなどの保湿化粧品を用いた保湿ケアが推奨されています。ピーリング後は、一時的にくすみ・ゴワツキが目立たなくなりますが※1、皮膚バリアは壊れターンオーバーは早くなったまま。むしろ、継続使用はかえって正常な角質を取り除き（角質バリアを壊し）、ターンオーバーを亢進させるため、くすみ・ゴワツキの悪化につながります。また、保湿ケア直後は一時的に肌（角質）が柔らかくなりますが、ほとんどの保湿化粧品には、合成界面活性剤やアルコールが配合されているため、継続使用は角質バリアを壊し、ターンオーバーを早める原因となります。

※1 ケミカルピーリングとホームピーリング「ホームピーリングは古い角質を取り除くことがほとんどできない」

●ケミカルピーリング：

サリチル酸などの薬剤を用いて美容皮膚科にて行う、古い角質を取り除くことができるピーリング。ただし、正常な角質を取り除き、炎症やニキビを起こすリスクも。特に角質が薄く、肌が弱い方が使用するとかえって肌を弱めてしまうことに。

●ホームピーリング：

AHA や BHA などの植物由来成分配合のピーリング化粧品を用いてお家で行うホームピーリング。ケミカルピーリングに比べて肌への刺激は少ないが、ケミカルピーリングに配合される成分や量と異なるため（サリチル酸は化粧品に高濃度配合することができない）、皮膚表面に蓄積した古い角質を取り除くことはほとんどできないといわれている。ただし、継続使用では正常な角質を取り除く場合もある。

●海の森化粧品「バリアケアで、くすみ・ゴワツキを繰り返さない肌へ」

含有する①タンパク分解酵素が古い角質を取り除く（正常な角質は取り除かない）②リノール酸が壊れた皮膚バリア（特に角質バリア）を修復します。合成界面活性剤やアルコール不使用のため、バリアを壊さず紫外線や乾燥などの外部刺激から肌を守り、ターンオーバーが正常に機能する皮膚環境を整えます。多少時間はかかっても、皮膚表面に蓄積している古い角質が垢として剥がれ落ち、また古い角質が蓄積しにくくなるため、さらにキメが細くなることで、くすみ・ゴワツキを繰り返さない肌へと導きます。